

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2024年2月28日

回答数 20/25

事業所名: さんさんスマイル

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員に対して、十分なスペースを確保している。	・はい100% ・いいえ0% ・どちらともいえない0% ・わからない0%	運動フロアと作業フロアを有効に活用し、今後も十分なスペースを確保する。
	2 職員の適切な配置	法定基準以上の職員を配置している。 また、保育・介護の資格を有する職員を配置している。	・はい55% ・いいえ0% ・どちらともいえない15% ・わからない30%	今後も適切な職員配置に努める。 周知できるよう、定期的にスタッフ紹介を行う。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	各フロアに絵や写真、毎日のタイムスケジュール(活動内容)を提示し、情報伝達等に配慮した環境を提供している。	・はい100% ・いいえ0% ・どちらともいえない0% ・わからない0%	今後も情報伝達含め、見通しを持って過ごせるよう、設備整備を行う。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃の実施、感染予防対策として、換気・消毒を徹底している。 来所後、外出後も手洗い(うがい)、を行っている。	・はい100% ・いいえ0% ・どちらともいえない0% ・わからない0%	快適に過ごせる生活空間の提供に努めている。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日朝礼時に業務・療育内容の立案、実施計画、振り返りを行い、月毎にミーティングを開催し、業務改善を行っている。	/	引き続き、朝礼(毎日)とミーティング(毎月)を行う。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価は活用できていないが、月毎に株式会社エスポワールで運営している放課後デイサービス(2事業所)・就労継続支援B型(1事業所)間で責任者ミーティングを開催し、業務改善や意見共有を行っている。		外部評価については、必要に応じて検討する。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	社内外の研修および、資格取得の機会を設けている。		引き続き、職員の資質向上に努め、研修の機会を確保する。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントを通じて保護者様のニーズを聞き取り、課題を分析したうえで個別支援計画書を作成している。	・はい100% ・いいえ0% ・どちらともいえない0% ・わからない0%	引き続き、計画書の作成に努める。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	主に微細運動・粗大運動・言語訓練等を通じて個別療育の実施、共同制作・集団運動を通じて集団療育を実施している。	・はい90% ・いいえ0% ・どちらともいえない0% ・わからない10%	ご利用者様1人1人に寄り添った個別療育・集団療育・計画書の作成を行っている。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
提供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもの支援に必要な項目設定を行い、個別支援計画書に具体的な支援内容を記載している。	・はい90% ・どちらともいえない0% ・いいえ0% ・わからない10%	引き続き、具体的な支援内容を記載する。
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員間での連携を密に、個別支援計画書や日々の療育タイムスケジュールを基に支援を実施している。	・はい90% ・どちらともいえない0% ・いいえ0% ・わからない10%	引き続き、適切な支援を提供できるよう努める。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	朝礼やミーティングで日々、活動プログラムの立案を行っている。	・はい100% ・どちらともいえない0% ・いいえ0% ・わからない0%	引き続き、チームで活動プログラムの立案に努める。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日・休日・長期休暇ではご利用時間が異なるため、日々適切な療育や支援内容を提供できるよう、努めている。		毎日適切な支援を提供できるよう、努める。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子どもの趣向や特性に応じた活動プログラムを組み、季節を感じられる活動を行うなど、固定化しないよう、工夫している。		引き続き、活動プログラムが固定化しないよう、工夫する。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	前日の朝礼時から明日の療育プログラムについて協議し、内容や役割の確認を徹底している。		職員間の連携を密に支援内容や役割を確認し、徹底する。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後と明日の朝礼時に支援の振り返りなど情報共有を徹底している。SNSも活用している。		引き続き、職員間での情報共有を密に行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	サービス提供実績記録・日間表・連絡帳等の作成と保管を行い、支援の検証・改善に努めている。	引き続き、正確な支援の記録と検証、改善に努める。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	児童の発達段階や保護者様の意向に応じて計画の見直しを行っている。	保護者様の想いや意見、児童の成長に応じて見直しを行う。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	出来る限り本人中心支援会議に参画し、保護者様や関係機関と情報共有を行っている。	引き続き、支援会議に参加する。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、該当するご利用者様はいない。	該当する児童の利用が開始した時点で、関係機関と連携した支援を実施する。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、該当するご利用者様はいない。	該当する児童の利用が開始した時点で、連絡体制の整備を徹底する。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	利用開始までに保護者様からヒアリング、本人中心支援会議に参画し、情報収集を行っている。	引き続き、情報共有に努める。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	相談支援専門員を通じて情報提供を行っている。	引き続き、保護者様や相談支援専門員を通じて情報提供を行う。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	相談支援専門員を通じて専門機関との連携を図っている。	引き続き、専門機関との連携に努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	野外活動を通じて交流することがある。	・はい50% ・どちらともいえない0% ・いいえ10% ・わからない40%	ご利用者様のニーズを汲み取りながら交流活動の検討を重ねる。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	昨年度からイベント活動を通じて地域交流を行っている。	・はい50% ・どちらともいえない0% ・いいえ10% ・わからない40%	引き続き、季節のイベント活動(クリスマスやハロウィンパーティー等)を通じて地域交流を行う。
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援の内容は契約時や対談の際に説明している。 利用者負担については要望があれば丁寧な対応に努めている。	・はい100% ・どちらともいえない0% ・いいえ0% ・わからない0%	引き続き、丁寧な対応に努める。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画書作成後、説明を行っている。	・はい85% ・どちらともいえない15% ・いいえ0% ・わからない0%	引き続き、丁寧な対応に努める。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	主に対談の際、意見交換等を行っている。	・はい35% ・どちらともいえない15% ・いいえ30% ・わからない15%	定期的に面談を実施していく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	常日頃から送迎時や連絡ツールを用いて共通理解の徹底に努めている。	・はい85% ・どちらともいえない15% ・いいえ0% ・わからない0%	引き続き、共通理解の徹底に努める。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時以外にお話する機会が少ない。等のお声がありました。	・はい45% ・どちらともいえない35% ・いいえ10% ・わからない10%	面談の再開等、相談しやすい環境を構築していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	昨年度から保護者参加型のイベントを開催している。	・はい35% ・どちらともいえない15% ・いいえ20% ・わからない30%	保護者参加型のイベントを開催する。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	迅速かつ適切な対応がとれるよう、苦情に対する体制は整えている。	・はい75% ・どちらともいえない0% ・いいえ0% ・わからない25%	引き続き、迅速かつ適切な対応に努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	支援室に大きくタイムスケジュールや絵カードの掲示で見通しを立て、情報が伝わりやすい環境を提供している。関係を築けるよう、気持ちに寄り添い1人1人に合った意思の疎通を行っている。	・はい100% ・いいえ0% ・どちらともいえない0% ・わからない0%	SNSの活用など保護者様に毎日の情報を伝えている。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	活動概要や保護者様に周知が必要な情報は連絡ツール、お便り、SNS(Instagram)を通じて開示している。	・はい100% ・いいえ0% ・どちらともいえない0% ・わからない0%	保護者様とのコミュニケーションの機会を増やせるよう定期的に面談の機会を設ける。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報書類は鍵付き書庫で保管し、契約時に個人情報使用同意書を必ず提出していただいている。	・はい100% ・いいえ0% ・どちらともいえない0% ・わからない0%	引き続き、個人情報の守秘に努める。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	対応マニュアルは作成し、職員間の共有はできているが保護者様への周知が徹底できていない。	・はい55% ・いいえ5% ・どちらともいえない15% ・わからない25%	再度、保護者様へ対応マニュアルの周知を行う。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	長期休暇中に避難訓練を行っている。	・はい55% ・いいえ0% ・どちらともいえない0% ・わからない45%	引き続き、避難訓練を行う。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	適切な対応がとれるよう、支援や対応方法の徹底と日々、朝礼時に意見共有を行っている。		職員定例会議の際、職員研修の時間を設けている。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在該当する児童の利用がないため、放課後等デイサービス計画への記載はしていない。事例が発生した際は児童・職員の安全確保のため声掛け、視覚指示と手や頭を抑える対応をとり(拘束が必要と事業所内で判断した場合)、保護者には詳細説明を行う。		該当する児童の利用が開始した時点で、保護者様や関係機関と連携し、慎重に対応していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に保護者様から詳細を聞き取り適切な対応に努めている。		引き続き、保護者様、医師の指示に従い適切な対応に努める。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット・事故報告書の事例集を作成し、ミーティング、朝礼時で情報共有を行っている。		引き続き、職員間での共有を徹底する。